『宇宙×スマートシティ』 - 衛星データ利用ワークショップ 2021 - ハンズオントレーニング参加者募集のご案内

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(略称: JAXA、理事長:山川宏、所在地:東京都調布市)は、2021年5月12日から6月18日にかけて、『宇宙×スマートシティ - 衛星データ利用ワークショップ2021-』を福岡市にて開催します。

JAXA は、2021 年度打ち上げ予定の先進光学衛星「だいち 3 号」(ALOS-3)のデータを利用した新規事業の創出、事業者の開拓を進めています。今回、「スマートシティ」をテーマとし、九州大学箱崎キャンパス跡地におけるまち(スマートシティ)づくりにて掲げられている「FUKUOKA Smart EAST(※)」に着目しながら、衛星データの利活用による、地域課題の解決に向けたビジネスアイデアの創出及び宇宙ビジネスへの新規参画の促進を目指し、ハンズオントレーニングとアイデアソンを実施いたします。

今回参加者を募集しますハンズオントレーニングでは、衛星データの使い方の基礎について講習を実施いたしますので、衛星データの使い方に興味のある方の参加をお待ちしています。

アイデアソンの開催形態変更にともなう申込締め切り延長に合わせまして、 ハンズオントレーニングの申込締め切りを 5/6(木)まで延長しております。 (アイデアソンの締め切りと若干異なりますのでご注意ください)

(※) **FUKUOKA Smart EAST** とは

少子高齢化など、まちづくりの様々な課題を解決しながら持続的に発展していくため、最先端の技術革新の導入などによる 快適で質の高いライフスタイルと都市空間を創出し、未来に誇れるモデル都市を創造していくまちづくりの考え方です

ハンズオントレーニングの詳細

1.主 催:国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構

2.イベント概要

衛星データプラットフォーム Tellus を利用し、ALOS-3 相当データを用いた衛星 データの処理の基礎の講習を行います。

ハンズオントレーナーとして、Tellus を運営している「さくらインターネット株式 会社 | 様にご協力いただいております。

ハンズオントレーニングを通じて体験できること

- ・衛星データ解析の基礎から、衛星データの解析ツールの使い方を学ぶことができます。
- ・経産省が整備する衛星データプラットフォーム Tellus の開発環境の使用方法について、専門家から指導を受けることができます。

ハンズオントレーニング 講師プロフィール

若狭 敏樹(わかさ としき)

1978 年北海道生まれ。札幌市内のシステム会社にて、Web システム開発、ITインフラ構築に従事する。 2008 年ビットスター株式会社を創業し、取締役 COO に就任。主に Web サービス、検索エンジン、クローリング、言語解析技術の技術開発を主導する。 システム・インフラ・アプリの常時一体的監視を可能としたサービスデスク株式会



社を設立し取締役に就任。 国立情報学研究所とともに技術研究を行うノースグリッド社取締役に就任。MOKUZY 株式会社の共同創業者兼チーフアーキテクトに就任。

3.開催日時

実施期間: 令和3年5月12日 13:00~17:30まで

プログラム

宇宙×スマートシティ -衛星データ利用ワークショップ 2020-

ハンズオントレーニング

- 1. JAXA 挨拶 (10分)
- 2. Tellus^{※1}とは (10分)
- 3. 機械学習の一般論 (30分)
- 4. リモートセンシングの基礎 (40分)
- ----- 休憩 ----- (10分)
- 5. ALOS-3^{*2}相当データ ハンズオン(差分抽出ツール/Tellus-DEUCE) (1 時間)
- ----- 休憩 ----- (10分)
- 6. ALOS-2^{※3}(PALSAR2) ハンズオン(干渉処理ツール/TelluSAR) (1 時間)
- 7. 質疑応答 (20分)
- 4. 開催場所:オンライン上で実施

(Jupyter Notebook、Zoom を利用)

- 5.参加費:無料
- 6.募集者数 : 30 名

申し込み多数の場合、ご希望に添えない場合があります。

※アイデアソンについてもご興味のある方は別途ご応募ください。双方のイベントに参加することも可能です。

7.ご用意いただくもの

ハンズオントレーニングでは、Jupyter Notebook 上で Python を利用するため、

参加者が PC と PC を接続するネットワーク回線を準備する必要があります。

データ解析はクラウド上で実施するため、参加者で用意いただく PC は通常のノートブック PC で十分です。

8.参加資格:

- ・衛星データの取り扱いに興味をお持ちの方
- ・AI を用いたデータの取り扱いに興味をお持ちの方

※基本的な Python 言語でのプログラミングが理解できる必要があります。

9.申込方法:

以下の URL にアクセスしフォームに登録いただきます。 申込の締切は令和3年5月6日 午後3時00分となります。

https://forms.office.com/r/iXwxpM2Jaj



10.問合せ先: 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 衛星利用運用センター

仲村 和義 電話:070-3117-4703、 Email:nakamura.kazuyoshi@jaxa.jp

松尾 尚子 電話:070-3117-4780、 Email:matsuo.naoko@jaxa.jp

- ※1 Tellus (テルース):経産省が整備する衛星データプラットフォーム ttps://www.tellusxdp.com/ja/
- ※2 ALOS-3: 先進光学衛星「だいち 3 号」(Advanced Land Observing Satellite-3) https://www.satnavi.jaxa.jp/project/alos3/
- ※3 ALOS-2:陸域観測技術衛星2号「だいち2号」

(Advanced Land Observing Satellite-2)

https://www.satnavi.jaxa.jp/project/alos2/